

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成25年7月3日（水）

午後 1時30分 開会

午後 1時45分 閉会

場所： 全員協議会室

〔報告案件の補足説明〕

1 平成24年度半田市各会計の決算見込みについて

水野節総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 衣浦西部浄化センターにおける広域汚泥処理について

加藤幸弘水道部長：資料に基づき説明

松本如美議員：各市町から申し出があったとの事ですが、31年度末での既存の焼却炉の廃止、これに向けて県の広域化の中で全体的に申し出があったとなつていますが、実態としては、県から広域化を図って欲しいとの話があつたことなのかどうか、広域化が良いかわかりませんが、最終の汚泥を搬送してきて市町は処理をするのかどうか、最後にコストの関係でいくと浄化センター全体を建替える時の総額の中で半田市は4千万円減るのか、維持管理費も持ち込んだ量の応分で分担するのか、この知多の広域化することによって施設の建設費等々が焼却炉だけではなくて全体の建物からみて建て替えると4千万円減るのか、数字の根拠や全体がよく見えてないので質問も曖昧かも知れませんが、もう少し衣浦西部の今後の日程的なものもあればいただけるものならいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

加藤幸弘水道部長：確かに愛知県は、広域処理を目指して行っておりますけれども、現在、半田市を除いた単独公共下水道を持っている常滑、東海、知多市においては、いまそれぞれ持っている焼却施設がかなり老朽化していて、作り替えると非常にコストがかかるという事がありまして、衣浦浄化センターの方の施設が対応年数31年を迎えるということで、その作り替える時に出来たら一緒にやらせてもらえないか、分母を大きくしてもらえないかという要請がありました。愛知県としては、広域化を進めておりますけれど、それよりも緊迫した問題として3市の方では何とかして欲しいという事を言っております。コストの件でございますが、浄化センターすべてではなくて、処理施設だけに関してのコストの明記となっております。建設費につきましては、概ね38%程の縮減が図れます。維持管理費については、毎年35%程縮減が図れるということでお答えさせていただきます。汚泥の搬入につきましては、固形の形になった脱水ケーキになったものを専用の車両で運搬します。

3 「はんだスポーツの日」シンボルマークについて

本間義正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

4 ～新美南吉生誕100年記念～第32回半田市民マラソン大会のゲスト招聘について

本間義正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

[その他]

・ 第29回全国小学校陸上競技交流大会のポスターについて

本間義正教育部長：写真は今年の大会のもので、ここに写っていますこの子どもさんですが、現在、成岩中学校1年生の蜷川真未さんであります。今年の大会で宮池小学校6年生で成岩スポーツクラブの陸上スクール所属として、80mハードルに出場し、決勝まで進みまして5位という成績をおさめております。半田市の選手がポスターの中心に移り全国に掲示されますことのお知らせをします。